

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 屏風ヶ浦地区は区内でも高齢化率が高く、一人暮らし世帯も多い地域である。さらに、山坂や狭い道が多く、交通の便が悪い地域もありケアプラザへ足を運ぶのが難しい方もいる。汐見台地区は区内では、近年大型マンションの増加に伴い年少人口が増加しているが、高齢者数が減っている訳ではない。両地区とも、若い世代の自治会の活動への参加が減少している現状がある。 ケアプラザとしては、各連合町内会が中心となり各自治会町内会を取りまとめ、さまざまな取組を行っているため、行事参加などを通じて後方支援をしていく必要がある。また、既に活動をされている団体等に関して、より地域に根付いた関係となりえるよう支援していく必要がある。 ケアプラザが今まで行ってきた高齢者を対象とする事業の実施場所の工夫等を行い、より多くの方にケアプラザが周知できるように働きかけていきたい。また、現在行っている子ども対象の事業や子育て世代を対象とした取り組みの情報発信方法の工夫、小中学生への直接的なアプローチを行うことで、ケアプラザの更なる周知となるよう努めていき、多世代に利用頂けるケアプラザを目指していく。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアプラザニュースに掲載する内容について、ケアプラザと地域の方との繋がりや取り組みが見える内容とし、身近な存在・相談場所としての周知、また各自治会の掲示板、区役所等でも広く広報をし、積極的な声かけを心がける。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	汐見台小学校・屏風ヶ浦小学校・森中学校・汐見台中学校の4校への認サポ以外にもPTAや職員向けの認サポを提案、実行する。 又、エリア内の医療機関、関係団体、学校関係者、PTA等へも認知症の普及啓発活動を継続的に行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	前年度実施していた場所に加え、新たな場所においても介護予防講座を実施していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	毎月開催している介護者の集いについて、講座形式は6月、10月、12月（3回）とし、ピアカウンセリングの時間を確保する。年間を通じて参加者それぞれが「介護に関するお勧めの本」を紹介する時間も設ける。 また、男性介護者の悩みや情報交換ができるような場を設ける。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	磯子区版エンディングノートや、もしも手帳の書き方、活用の仕方などの講座を自治会茶話会や高齢者賃貸住宅サロン、毎月開催される地域の集まりの場などで開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域にある居場所（サービスB・空き家活用）が地域に根付いた関係性を持っていけるよう、地域住民や利用している方々の意見を聞く場を設けていく。また、介護予防やケアプラザの出張講座などをコーディネートし居場所の活用とする。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り 事業計画における方向性として、①屏風ヶ浦地区、汐見台地区の自治会町内会及び活動団体の後方支援的役割から地域に根付いた関係の構築、②多世代が利用して頂けるケアプラザを目標に、その周知活動の2点を挙げていた。実際に取り組みを行ってきた中で、上記の具体的な取り組み内容については概ね実施が出来ており、特に①については多数のサロンや集まりの場へ出向く事が出来た。それによりケアプラザ周知機会として顔の見える関係構築にも繋がった事から、次年度に向けて更に関係性を深めていくきっかけになった。②については、今年度は子育て世代からの認サポ開催依頼があり、一般向けとして実施した経緯を踏まえ、徐々ではあるもののこれまで課題として取り組んできた成果が出始めていると考えられる。また、直接的アプローチとして初めて汐見台中学校で認サポを実施することができ、地域の小中学生交流体験等へ繋がってきている事からケアプラザ周知の場に広がりが出てきている。「多世代」を見据え、広がりを得られた方々との関係を維持しながら、今後も継続して取り組む。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント ケアプラザ圏域に2つの連合がありながら、それぞれの特性に合わせたきめ細かな地域支援をしていただいています。来年度に向けて、多世代を見据えた活動については、引き続きの取組をお願いします。また、地域福祉保健計画の策定年度のため、地域との情報共有やアセスメントについても必要不可欠です。地域全体としての動きの活性化につなげるためにも、エリア会議など活用し、一緒に取り組んでいけたらと思います。 また、地域包括支援センター事業では、日頃から個別の相談に丁寧に対応していただいています。ケアプラザと地域包括支援センターで協力し、毎年、学校にアプローチした結果、今年度は担当エリア内の全小中学校への認知症サポーター養成講座の開催ができたことは大きな成果と言えます。また、地域の声を拾い、子育て世代向けの認知症サポーター養成講座の開催は、多世代へのつながりの第一歩となりました。エンディングノートや介護予防の啓発で、地域に積極的に出向いており、今後とも地域との関係づくりに努めていただきたいと思います。		